

# 平成 28 年 度 事 業 報 告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

## 1. 教育の情報化の推進についての提言・提案事業

### (1) 教育の情報化政策検討委員会での検討と提案

教育に関する国の動向、特に文部科学省の動向（2020 懇談会、次期学習指導要領改訂、第 3 期教育振興基本計画、ICT 環境整備有識者会議など）を分析し、以下のような機会を通じて提案を行った。

#### ① 次期学習指導要領内容に対するパブリックコメント提出

（プログラミング教育について）

#### ② 第 3 期教育振興基本計画の基本的な考え方に対するパブリックコメント提出

（目標管理のあり方について）

#### ③ ICT 環境整備有識者会議への意見提出

（目標設定のあり方について）

### (2) 学校ネットワーク構築技術者検定試験検討WGでの検討

無線 LAN 構築技術を中心に、地域の学校ネットワーク構築技術者を育成することを目的とした検定試験の実施について検討を行った。モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）と共同で、検定試験実施の構想を作成した。

## 2. 教育の情報化についての調査・研究開発事業

### (1) ICT 教育利用研究開発委員会

#### (1) 教育コンテンツの形態と流通に関する調査研究プロジェクト

プロジェクトのテーマである「新しい技術を意識した進化型コンテンツ流通のビジネスモデル」を踏まえ、学習指導要領で定める単元の考え方を「学習要素リスト」という概念で整理し、それを仲立ちとしたデジタル教科書とデジタル教材の接続について議論を深めてきた。具体的には、学習指導要領で示された目標に合わせてつくられた教科書や教材のそれぞれの学習内容の扱い方とその粒度、そして、それら学習内容を表現する名前（単元等）が、教科書や教材ごとに独自に設定されている現状に対して、標準化の可能性について研究を行っている。

#### (2) ICT を活用した教育環境の未来を考えるための学校訪問プロジェクト

プロジェクト活動方針は、以下の 3 点を活動の柱とした。

##### ① 普段着の授業参観及びヒアリングを実施（1 人 1 校以上コーディネートする）

##### ② 各自が公開授業等を見学し、プロジェクト会議の際に情報交換を実施

##### ③ その他（委員間の各種情報交換、J A E T 前夜祭の開催）

8 校の公立・私立学校を訪問し、校長先生や指導主事などと意見交換を行った。

また、7 地域の学校の公開授業を見学し、定例会で各委員による見学報告が行われ、議論を深めた。全日本教育工学研究協議会全国大会（J A E T 佐賀大会）に先立ち、「J A E T 前夜祭」を実施した。

### (3) スマホ・タブレット時代の新たな学習環境に関する調査研究プロジェクト

今年度は教育の情報化関連の勉強会・ワークショップを通じより広いテーマで調査研究を進めた。また、一人一台端末の種類についての調査、学校現場では教員としてどんな知識やライフスタイルが必要なのかについても議論し、「でじたる教室日記（ブログ・Facebook）」を活用して発信をしてきた。整備計画上、教室に一台とされている電子黒板や指導者用デジタル教科書、さらに一人一台の情報端末の普及活動として、「デジタル教科書と電子黒板の現状と標準化への提言」をまとめ、情報発信を行った。

### (4) 若手の会

今後の一人一台情報端末やデジタル教科書普及等の教育の情報化の進展に向けて、次代を担う会員各社の若手メンバーが集まり、様々な情報交換やディスカッションを通じて、個々の意識や知識を高めることを目的として活動した。

平成 28 年度は、校務支援システムの勉強会、教育の情報化の課題に関するディスカッション、足立区教育委員会ヒアリング訪問、文部科学省との意見交換等、概ね月 1 回のペースで全 9 回に亘って会議を開催した。

## (2) 教育の情報化調査委員会

### (1) 国内調査部会

通算 10 回目となる教育用コンピュータ等に関するアンケート調査について、全国 780 の学校、298 の教育委員会から得られた回答の分析を行い、報告書を発行した。平成 29 年 3 月に開催した教育の情報化推進フォーラムの分科会で、最終報告を行った。また、次年度に予定されている第 11 回調査に向けて、調査方法や内容を検討した。

### (2) 海外調査部会

次項に述べる英国訪問調査を企画し、実施した。訪問に先立って、英国の教育全般に関する調査や、2012 年以降に世界に先駆けて行われた情報教育の改革の経緯の調査を行った。英国訪問調査終了後は、平成 29 年 3 月に開催した教育の情報化推進フォーラムの分科会で報告を行った。

### (3) 海外・教育の情報化状況実態調査

以下の日程でイギリス（ロンドン）を訪問した。会員を中心に 17 名の方が参加した。

日程：平成 29 年 1 月 26 日～2 月 2 日

前半二日間で、世界最大の教育関連展示会 BETT を視察し、世界の教育の情報化の動向や製品の動向を把握した。後半は、学校・教育関連有識者団体・企業などを訪問した。特に、近年、英国の情報教育の企画を進めてきた団体である「Computing At School」を訪問し、教科「コンピューティング」の意義や課題を有識者から聞くことができた。

#### (4) 教育 ICT 課題対策部会

以下の 2 回の討論会を実施し、課題と対策を抽出した。

- ① パネルディスカッション「どうする！？学校 ICT 導入活用の壁」  
(平成 28 年 9 月 7 日 お茶の水女子大学で開催した会員交流会にて)
  - 第 1 部 教育委員会・学校の ICT 導入活用の壁
  - 第 2 部 日本がおかれている状況と学校教育が担うべき責任と教育
- ② グループディスカッション「学校での ICT 活用促進の壁」  
(平成 29 年 3 月 4 日 教育の情報化推進フォーラムにて)
  - テーマ 1 学校の ICT 環境整備 (2 グループ)
  - テーマ 2 学校での ICT 活用 (4 グループ)

#### (5) 外国語学習システム調査研究部会

小中学校の外国語授業見学や先生へのインタビュー、セミナーへの参加を通じて、学校現場が求める ICT 機器や教材等に関する調査研究を行った。

- ① 平成 28 年 11 月 22 日 先進的 ICT・小中一貫教育研究大会 (茨城県つくば市)
- ② 平成 29 年 1 月 16 日 カリタス小学校にてフランス語と英語の授業を見学

### 3. 教育における ICT 利用促進のための調査研究事業 (公益目的支出計画継続事業)

#### (1) ICT CONNECT 21 みらいのまなび共創会議 (自主研究事業)

技術標準化WGにおいて、国際連携、CBT、ユーザー認証、校務系-学習系情報連携の 4 サブWG が活動を行った。普及推進WG では、自治体プロモーション、学校・家庭・民間教育事業者の連携ビジネス開発、ICON プロモーション、教育現場発！ニーズをシーズへ、EdTech イノベーション、学習資源・データ利活用、パーソナルデータ利活用研究の 7 サブWG が活動を行い、10 月の e ラーニングアワードフォーラムでの発表、3 月の教育の情報化推進フォーラム、技術標準化WG の発表を行った。

総務省と連携し教育クラウドプラットフォーム協議会の事務局、文部科学省・総務省・経済産業省の 3 省と連携した未来の学びコンソーシアム事務局として活動を行った。

### 4. 教育の情報化普及促進事業 (公益目的支出計画継続事業)

#### (1) ICT 夢コンテストの開催

「支えよう学校、つなげよう地域」をコンセプトに、ICT 活用の実践事例募集を行い、387 件の応募作品があった。その中から厳正なる審査を経て、文部科学省大臣賞、総務大臣賞など優良な事例 34 件を選出した。平成 29 年 3 月に開催した教育の情報化推進フォーラムにおいて表彰し、受賞者が分科会で発表を行った。

## (2) 教育の情報化推進フォーラムの開催

「次期学習指導要領改訂に向けて」をテーマに平成29年3月3日～4日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催した。来場者数は1,122名（延べ1,600余名）であった。

基調講演「学習指導要領改訂案について」を文部科学省の合田哲雄課長に、特別講演の「高大接続改革についてー現状と展望ー」を日本学術振興会の安西祐一郎理事長にお願いした。また、総括パネルディスカッションは、「思考力を高めるICT活用」と題し、赤堀会長をコーディネーターに4名のパネリストの方々にそれぞれの観点から議論いただいた。

その他、各委員会、プロジェクト、部会からの成果発表に加え、ICT夢コンテスト受賞者によるICT活用実践事例発表や教育関連企業・団体による43の展示ブースも設け、広く教育関係者や教育関連企業等に教育の情報化に関する最新情報の提供ができた。

## 5. 教育の情報化の普及・推進事業

### (1) 研修実施

#### (1) 情報教育対応教員研修全国セミナー

平成28年度は、合計52回のセミナーを全国各地で開催し、5,513名が参加した。

##### ① 小・中・高等学校教員・教育委員会指導主事等対象セミナー（35会場で開催）

共催：日本教育工学協会

後援：文部科学省、総務省、経済産業省、開催地教育委員会

協力：シャープビジネスソリューション、ジャストシステム、Sky、スズキ教育ソフト、大日本印刷、ダイワボウ情報システム、日本電気、パイオニアVC、東日本電信電話、広島県教科用図書販売、富士ソフト、富士電機ITソリューション

対象：小・中・高等学校教員、教育委員会指導主事等

##### ② 中学・高等学校教員の情報処理研修会（17会場で開催）

共催：日本教育工学協会

後援：文部科学省、総務省、経済産業省、開催地教育委員会

協力：電子開発学園

対象：中学・高等学校教職員

### (2) 展示会開催

#### ① 第1回 関西教育ICT展

期日：平成28年8月4日～5日

会場：インテックス大阪

#### ② 教育の情報化推進フォーラム展示会

期日：平成29年3月3日～4日

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

③ 第 43 回教育工学研修中央セミナー「I M E T S フォーラム 2016」併設展示会

期日：平成 28 年 7 月 28 日～29 日

会場：港区立三田中学校

**(3) 冊子発行**

**(1) I C T 教育環境整備ハンドブック 2017 発行**

一般的に記載内容を最新化した。40,000 部を印刷し、平成 29 年 3 月に発行した。全国の教育委員会、教育センターに配布した他、要求に応じ各学校にも送付することとしている。本事業は、日本教育情報機器株式会社殿のご協力を得て実施したものである。

**(2) 会報発行**

年 4 回（4 月、7 月、10 月、1 月）、予定どおり発行した。会員のほかに、全国の教育委員会・教育研究所・教育センター等（約 2,000 か所）に配布した。

**(3) 平成 27 年度研究活動レポート発行**

平成 27 年度の活動内容および成果を冊子にまとめ、定時総会時（平成 28 年 6 月）に発行した。

**(4) インターネットによる情報提供**

**(1) ホームページからの情報提供**

会員および教育関係者全般を対象に最新の情報を提供した。「教育委員会向け情報提供サイト」では、教育委員会が地域の教育の情報化を促進するために必要な資料を掲載・リンクした。また、教育委員会向けのホームページやメールマガジンを紹介するリーフレットを作成し、教育関係のイベントやセミナー等でご案内した。

**(2) メールマガジンの発行**

会員を対象に、本会の活動や教育関連の動向についての最新情報を原則として毎週 1 回発信した。

また、教育委員会関係者限定のメールマガジンを月に 1 回程度のペースで、文部科学省の施策やイベント、セミナー等の情報を配信した。

**6. 教育現場の I C T 安全安心対策事業（公益目的支出計画継続事業）**

**(1) 情報モラル指導充実のための事業（公益財団法人 J K A 補助事業）**

情報モラル教育の指導者となる教員の研修を実施し、情報モラル教育のすそ野を広げる活動を促進させた。平成 28 年度は約 630 名の研修担当の教員の受講があった。セミナー会場は、公募により教育委員会、教育センターを選定して実施した（15 か所）。

## (2) コミュニケーション力育成のための事業（公益財団法人JKA補助事業）

今年度は、5地域（福岡、大阪、金沢、東京、仙台）において、本セミナーや研修会を公益財団法人JKAの補助金を受け実施した。セミナーは、趣旨説明、基調講演、模擬授業・ワークショップ、統括パネルで構成されており、21世紀型コミュニケーション力育成をめざす参加体験型セミナーとした。タブレット端末、思考表現ツール、ジグソー学習等を活用して学び合う、主体的・対話的で深い学びを提案した。

## (3) 情報モラル指導評価指標開発事業（公益財団法人JKA補助事業）

ネット社会の歩き方講師育成セミナーを受講した教員が学校に戻り校内教員研修や児童生徒に情報モラル教育を実施した際、児童生徒の理解力を、知識の定着を測るため、指導評価指標としてのテスト問題の開発を行いC B Tシステムにより情報モラルテストを公開し提供した。問題数は小学校 30 問、中学校・高等学校 40 問とした。

## 7. 教育工学団体協働事業

### (1) 日本教育工学協会（JAET）

- ・日本教育工学協会より委託を受け、事務局業務を遂行した。
- ・第42回全日本教育工学研究協議会全国大会（佐賀大会）共催  
開催地：佐賀県佐賀市  
開催日：平成28年10月14日～15日
- ・「教育の情報化」実践セミナー共催（和歌山、東京、仙台）  
開催地：和歌山県和歌山市      開催日：平成28年7月24日  
開催地：東京都千代田区      開催日：平成28年12月23日  
開催地：宮城県仙台市      開催日：平成29年3月19日

### (2) 日本教育工学会（JSET）

- ・日本教育工学会より委託を受け、事務局業務を遂行した。
- ・第32回全国大会  
開催地：大阪大学  
開催日：平成28年9月17日～19日

### (3) 公益財団法人才能開発教育研究財団

- ・第43回教育工学研修中央セミナー「I M E T S フォーラム2016」共催  
期日：平成28年7月28日～29日  
会場：港区立三田中学校

### (4) 全国公立小中学校事務職員研究会

- ・学校財務ウィークへ2016の協賛  
期日：平成28年11月1日～7日

(5) その他の団体へのセミナー、シンポジウム、コンテスト等への後援・協力

① U-22 プログラミング・コンテスト 2016 への協力

主催：U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会

期日：平成 28 年 4 月 1 日～10 月 7 日

② 第 12 回 IPA ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール 2016 の後援

主催：独立行政法人情報処理推進機構

期日：平成 28 年 4 月 1 日～11 月 30 日

③ 平成 28 年度 ICT プロフィシエンシー検定試験（P 検）の後援

主催：ICT プロフィシエンシー検定協会

期日：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

④ 第 16 回 毎日パソコン入力コンクールの後援

主催：毎日新聞社、一般社団法人日本パソコン能力検定委員会

期日：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

⑤ 第 7 回 教育 IT ソリューション EXPO の後援

主催：リード エグジビション ジャパン

期日：平成 28 年 5 月 18 日～20 日

会場：東京ビッグサイト

⑥ 第 19 回 全国中学高校 Web コンテストへの協力

主催：特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会（JAPIAS）

共催：一般財団法人インターネット協会（IAJapan）、

特定非営利活動法人情報ネットワーク教育活用研究協議会（JNK4）

期日：平成 28 年 5 月 31 日～平成 29 年 3 月 31 日

⑦ New Education Expo 2016 の後援

主催：New Education Expo 実行委員会

会場・期日：東京会場 平成 28 年 6 月 2 日～4 日

東京ファッションタウンビル

サテライト会場（札幌、旭川、名古屋、広島、福岡）

大阪会場 平成 28 年 6 月 17 日～18 日

大阪マーチャンダイズ・マート

⑧ ラーニングテクノロジー 2016 の後援

主催：日本経済新聞社、日経BP社

共催：特定非営利活動法人日本イーラーニングコンソシアム、

モバイルラーニングコンソシアム

期日：平成 28 年 6 月 8 日～10 日

会場：東京国際フォーラム

⑨ 平成 28 年度教育情報化コーディネータ検定試験および I C T 支援員能力認定試験の後援

主催：教育情報化コーディネータ認定委員会

期日：教育情報化コーディネータ検定試験 3 級 平成 28 年 6 月 12 日

教育情報化コーディネータ検定試験 2 級 1 次 平成 28 年 10 月 2 日

教育情報化コーディネータ検定試験 2 級 2 次 平成 28 年 12 月 4 日

I C T 支援員能力認定試験 平成 28 年 6 月 12 日、10 月 2 日

会場：札幌、東京、大阪、名古屋、上越、福岡

⑩ 防災世界子ども会議 2016 in 新潟の後援

主催：特定非営利活動法人グローバルプロジェクト推進機構 防災世界子ども会議実行委員会

期日：平成 28 年 8 月 3 日～8 日

会場：NSG カレッジリーグ学生総合プラザ STEP、  
新潟市民芸術文化会館 りゅーとぴあ コンサートホール 他

⑪ 第 18 回ワールドユースミーティング 2016 の後援

主催：ワールドユースミーティング実行委員会、日本福祉大学

期日：平成 28 年 8 月 7 日～8 日

会場：日本福祉大学東海キャンパス

⑫ 宇宙展の共催

主催（会場）・期日：K C S 福岡情報専門学校 平成 28 年 8 月 10 日～11 日

K C S 北九州情報専門学校 平成 28 年 8 月 27 日～28 日

⑬ CompTIA Academic Summit 2016 の後援

主催：CompTIA 日本支局/株式会社ウチダ人材開発センター

期日：平成 28 年 8 月 22 日～23 日

会場：国際ファッションセンター KFC Hall 111

⑭ 2016 国際学校図書館協会東京大会の後援

主催：2016 国際学校図書館協会東京大会組織委員会

共催：公益社団法人全国学校図書館協議会

期日：平成 28 年 8 月 22 日～26 日

会場：明治大学駿河台キャンパス

⑮ 教育システム情報学会第 41 回全国大会の協賛

主催：一般社団法人教育システム情報学会



期日：平成 28 年 8 月 29 日～31 日

会場：帝京大学宇都宮キャンパス

⑯ 平成 28 年度佐賀県 I C T 利活用教育フェスタの共催

主催：佐賀県教育委員会、日本教育工学協会（J A E T）

期日：平成 28 年 10 月 14 日～15 日

会場：佐賀市文化会館大ホール 他

⑰ 教育 I C T イノベーション 2016 in ITpro EXPO への協力

主催：日経 B P 社コンピュータ・ネットワーク局教育事業部

教育と ICT Online 日経 BP イノベーション ICT 研究所

期日：平成 28 年 10 月 19 日～21 日

会場：東京ビッグサイト

⑱ e ラーニングアワード 2016 フォーラムの協賛

主催：一般社団法人 e-Learning Initiative JAPAN、

フジサンケイ ビジネスアイ（日本工業新聞社）

期日：平成 28 年 10 月 26 日～28 日

会場：ソラシティ カンファレンスセンター

⑲ NHK 文化祭 2016 への協力

主催：日本放送協会

期日：平成 28 年 10 月 26 日～11 月 6 日

会場：NHK 放送センター 他

⑳ ユース・エンタプライズ トレードフェア 2016 の後援

主催：トレードフェア実行委員会

期日：平成 28 年 11 月 27 日

会場：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール

㉑ 2016 東京学芸大学 子ども未来フォーラム～デジタル教材と学校図書館～の後援

主催：2016 東京学芸大学 子ども未来フォーラム実行委員会

期日：平成 28 年 12 月 3 日

会場：東京学芸大学 N 棟

㉒ 2016 TRON Symposium (TRONSHOW) の協賛

主催：トロンフォーラム

共催：東京大学大学院情報学環 ユビキタス情報社会基盤研究センター

期日：平成 28 年 12 月 14 日～17 日

会場：東京ミッドタウン ホール

## 8. 会員情報交流事業

### (1) 教育の情報化セミナー（JAPET&CEC 会員交流会）開催

- ・平成 28 年 5 月 11 日 日本教育情報化振興会会議室  
米国訪問調査報告
- ・平成 28 年 9 月 7 日 お茶の水女子大学  
パネルディスカッション「教育委員会・学校の I C T 導入の壁」、「日本社会がおかれている状況と学校現場が担うべき責任と教育 I C T」
- ・平成 28 年 9 月 30 日 機械振興会館  
教育の情報化加速化プラン、文部科学省予算概算要求他（文部科学省）  
地域未来塾サイトの説明（ICT CONNECT 21）
- ・平成 28 年 2 月 8 日 機械振興会館  
教育の情報化加速化プラン関係予算（案）について（文部科学省）  
総務省における教育 I C T 予算（総務省）

### (2) 研究成果報告会（定時総会時）

会員主体の調査研究事業と受託事業を中心に、平成 27 年度の活動と研究成果を報告した。

期日：平成 28 年 6 月 14 日

会場：機械振興会館

## 9. 受託事業

### (1) 文部科学省委託事業「I C T 活用教育アドバイザー派遣事業」

（I C T を活用した教育推進自治体応援事業）

応募した地方自治体の中から、46 地域を選定し、国が委嘱したアドバイザーがそれぞれの自治体を訪問して、教育 I C T 環境整備を促進するため取り組みを支援した。アドバイザーが提出したアドバイザー業務報告書および自治体が提出した自治体業務報告書をもとに『学校の I C T 環境整備推進の手引き』をまとめた。

### (2) 文部科学省委託事業「I C T 支援員の育成・確保のための調査研究」

（I C T を活用した教育推進自治体応援事業）

本事業では、I C T 支援員の配置が進んでいない大きな要因として、支援員の業務が明確に定義され認知されていないため、その必要性が財政・調達部門に理解されていないことであると考え、この状況を改善するために、I C T 支援員の役割・業務内容を整理して、必要な資質・能力を「スキル標準」として明確にした。また、これをもとに一定の資質・能力を備えた I C T 支援員を育成するための「育成モデルプログラム」の骨子を開発した。平成 28 年度は、スキル標準、研修項目を作成した。

以上